

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

令和5年5月実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			放課後のみの時間帯は、広いスペースや活動に合わせて空間の設定が行えているが、夏休み等1日利用の時は、多機能事業所のため、他の事業所と併用になり、スペースが限られてしまう
	2	職員の配置数は適切であるか		4	2	改善目標: 職員の人数状況により活動が決まってしまうので、活動の充実するため、職員が増員出来ると良い。 工夫している点: 子どもたちの状況により、職員の配置場所を変え、支援しやすいところにいる。その日の人数、活動を見ながら、職員の動きの計画を考えている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			改善目標: 施設内に関しては、全面バリアフリーであるが、駐車場が砂利道となっているので、整備する必要がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2		工夫している点: 月1回の職員会議のときに、振り返り等が出来る議題として取り上げている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			工夫している点: アンケート調査後に職員で評価表の結果について、話し合いを行い、業務改善に生かせるようにしている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		工夫している点: ホームページで公開をしている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	2	改善目標: 今後、第三者による外部評価などを行い、より良い事業運営を行えるようにしていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			工夫している点: 定期的に内部研修を行い、資質の向上を行えるようにしている。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2		工夫している点: 家族の面談や利用時の過ごし方などを観察して、家族ニーズ、本人ニーズを計画している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3		改善目標: 共通したアセスメントツールを使用して、共有できるようにしていく。 工夫している点: 毎月、ケースカンファレンスを行い、支援の共有をしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	1	改善目標: 活動案を出すことは出来ているが、プログラムの計画まで立てることが出来ていないので、まとめるまで行えるようにしていく。 工夫している点: 毎日、業務の最後に振り返りの時間を設けたり、職員会議の時に、行事計画の議題をあげて全体で時間がとれる時間を取っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			工夫している点: 常に子どもたちの過ごし方を意識して、季節や体調、天候などによって活動の計画を立てている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3		工夫している点: 職員会議、日々の振り返りにて課題に対しての支援検討をしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		工夫している点: 1人1人の特性や身体状況に応じて、個別活動・集団活動の設定を行っている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			工夫している点: 1日のスケジュールをホワイトボードに書いて、統一した動きが共有できるように確認している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			工夫している点: 当日の振り返りを行い、次回への検討課題、支援方法を職員間で話し合い共有を毎回している
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		工夫している点: 毎日、ケースファイルに記録を残し、振り返りが出来るようにしている	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	3		基本活動に書かれている項目の活動を複数組み合わせ合わせて活動を行い、支援している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	3		担当者会議には、主に児童発達管理責任者が参加して、職員会議で報告を行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			工夫している点:学校の年間行事日程の連絡をいただき、学校の日程に合わせて、放課後の時間設定が出来るように対応している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6			工夫している点:主治医からの意見書をもらい、事業所での対応・主治医との連絡体制など整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4		改善目標:相談事業所を通じて、情報の共有はしているが、直接のやりとりは、出来ていない場合もあるので、全利用者に対して行えるようにしていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2		改善目標:相談事業所を通じて、情報の共有はしているが、直接のやりとりは、出来ていない場合もあるので、全利用者に対して行えるようにしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	4	障害のない子どもと活動をする機会を設けているわけではないが、お出かけや買物などで、様々な交流はできている。

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	1	2	工夫している点:事業所の代表として参加し、職員会議で報告を行い、地域での動きを把握するようにしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			工夫している点:送迎時、お迎え時など常に家族と話し、利用時の状況、家庭での様子などをお互いに共有出来るようにしている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	2	改善目標:専門的な助言を全職員が行えている状況でないため、職員のスキルアップを行い、全職員が保護者に対してアドバイス等できるようにしていく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	4	改善目標:保護者会等の開催はおこなっていないので、家族同士が情報共有できる場の開催を行うようにしていく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	1	4	改善目標:会報は作成していないが、ホームページやSNSなどを通じて、発信していくことを検討していく
	35	個人情報に十分注意しているか	6			工夫している点:本人の情報はケース庫にしまっておいて管理している。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	2		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	5	改善目標:事業所行事がないので、事業所で地域向けの行事を行えるように検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2		改善目標:マニュアルを保護者に伝わるように周知していく。 工夫している点:職員が目につく場所にマニュアルを置いてある
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	2	1	改善目標:地震、火事、洪水、台風など被害状況に合わせた訓練を定期的に行えるようにする
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1		工夫している点:全職員を対象に虐待防止研修と身体拘束防止研修を定期的に行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			工夫している点:座位保持装置付き車いすを利用している子どもの保護者には、安全の観点を確認して、ベルトの付け方、車いすの乗せ方などを共有して、個別支援計画に反映している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			工夫している点:職員会議の時にヒヤリハットを共有している。また、報告書をいつでも見直しできるように、職員が常に見られるようにしている